

# 読

Yomiuri  
Nippon  
Symphony  
Orchestra

# 響

重厚な響き。ブラームス最後の交響曲

# BRAHMS & WAGNER

官能的な旋律が紡ぐ陶醉の世界

ワーグナー：歌劇「タンホイザー」序曲

WAGNER: "Tannhäuser" Overture

ワーグナー：ヴェーゼンドンク歌曲集

WAGNER: Wesendonck Lieder

ブラームス：交響曲第4番 小短調 作品98

BRAHMS: Symphony No. 4 in E minor, op. 98

ドイツを拠点に活躍し、妥協を許さぬタクトで  
音楽への深い愛を込める孤高のアーティスト

指揮= 上岡敏之

Conductor= TOSHIYUKI KAMIOKA

ドラマティック・ソプラノとしてザルツブルク音楽祭、  
ウィーン国立歌劇場、英国ロイヤル・オペラで  
活躍するディーヴァ

ソプラノ= アウシュリネ・ストウンディーテ

Soprano= AUSRINE STUNDYTE



©Petra Baratova



©読響

※当初の発表から出演者が一部変更になりました。

読売日本交響楽団  
第288回土曜マチネーシリーズ  
Saturday Matinée Series No. 288

読売日本交響楽団  
第288回日曜マチネーシリーズ  
Sunday Matinée Series No. 288

2026年 **6月27日** (土)  
Saturday, 27 June 2026

2026年 **6月28日** (日)  
Sunday, 28 June 2026

各14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール  
14:00 Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

S¥8,800 A¥6,600 B¥5,500 C¥5,000

お申し込み・お問い合わせ  
読響チケットセンター 0570-00-4390  
(10時~18時・年中無休) <https://yomikyoo.or.jp/>

■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、キャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団  
共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

# 究極のドイツ音楽名曲選 ブラームス&ワーグナー

今回は長くドイツを拠点に活躍してきた上岡敏之が指揮するドイツの名曲集。まさに極め付きというべきプログラムです。

前半はドイツ・オペラの巨匠ワーグナーの2曲。コレペティートル（歌手の稽古等でピアノを弾く役割）やカベルマイスター（楽長的な立場）として本場歌劇場でのキャリアをスタートさせ、ザールラント州立歌劇場やヴッパータール市立歌劇場等の要職を歴任してきた上岡の本領が存分に発揮されるレパートリーです。特に最初の「タンホイザー」序曲では、本編の主要旋律を用いた劇的な音楽の抑揚がどう描かれるか？ 大いに楽しみ。次の「ヴェーゼンドク歌曲集」は、官能的かつ情熱的な5曲が展開されるワーグナーの稀少な歌曲集です。独唱を務めるアウシュリネ・ストウンディーテは、リトアニアに生まれた国際的に活躍するドラマティック・ソプラノの一人。英国ロイヤル・オペラ、ウィーン国立歌劇場、パリ・オペラ座、ザルツブルク音楽祭をはじめとする世界最高峰の舞台に出演を重ねている名歌手で、「トリスタンとイゾルデ」のイゾルデや「エレクトラ」「サロメ」のタイトルロールといったドラマティック・ソプラノの重要役を得意としています。となれば、「トリスタンとイゾルデ」を予告するといわれる「ヴェーゼンドク歌曲集」は、打ってつけの演目。強靱かつ陶酔的な歌声を聴かせてくれるに違いありません。

後半はドイツ・ロマン派の大家ブラームスの交響曲第4番。バロックや古典的な要素と後期ロマン派の重層感が融合した稀代の傑作です。上岡の特徴は、先入観を排し、一からスコアを見直して作曲家の意図を浮き彫りにする清新な表現。ここもお馴染みの名作の新たな魅力が聴く者の耳を喜ばせることでしょう。

読響は上岡との付き合いが日本で最も長いオーケストラ。たびたび客演して抜群の相性をみせていますので、今回もゴージャスかつ緻密な読響サウンドを生かした独創的な快演が期待されます。

柴田克彦（音楽ライター）

## 上岡敏之（指揮）

TOSHIYUKI KAMIOKA, Conductor

ドイツを拠点に活躍し、音楽へ愛を注ぐ孤高の芸術家。東京芸大卒業後に渡独、ハンブルク音大で学び、キール市立劇場でキャリアを始めた。ヘッセン州立歌劇場音楽総監督、北西ドイツ・フィル首席指揮者、ザールラント州立歌劇場音楽総監督、ヴッパータール響首席指揮者、ヴッパータール市立歌劇場音楽総監督及びインテンダント、新日本フィル音楽監督、コペンハーゲン・フィル首席指揮者などの要職を務めた。ケルン放送響、バンベルク響、バイエルン放送響、シュトゥットガルト放送響などに客演。現在、ザールブリュッケン音楽大学指揮科正教授。読響とは1998年以降共演を重ね、多くの名演奏を残している。またピアニストとして《読響アンサンブル・シリーズ》にも度々登場。

## アウシュリネ・ストウンディーテ（ソプラノ）

AUSRINE STUNDYTE, Soprano

圧倒的な存在感と力強い美声でザルツブルク音楽祭やウィーン国立歌劇場で活躍するドラマティック・ソプラノ。リトアニア出身。リトアニア音楽演劇アカデミーおよびフェリクス・メンデルスゾーン・バルトルディ音楽演劇大学で学ぶ。これまでに英国ロイヤル・オペラやパリ・オペラ座などの歌劇場に出演しており、「エレクトラ」「サロメ」「トスカ」の表題役、「トリスタンとイゾルデ」イゾルデ、「ムツェンスク郡のマクベス夫人」カテリーナなど数多くの難役でメータやパッパノーラと共演。2025/26年シーズンは、英国ロイヤル・オペラ、ウィーン国立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、バイエルン放送響に登場するなど活躍を続けている。読響初登場。

©Christine Schneider

読売日本交響楽団 第288回 土曜マチネーシリーズ

2026年 **6月27** 日(土) 14時開演  
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

読売日本交響楽団 第288回 日曜マチネーシリーズ

2026年 **6月28** 日(日) 14時開演  
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

東京芸術劇場 コンサートホール（池袋） 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111  
●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分（\*駅地下通路2b出口と直結しています）

■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます（要学生証/25歳以下）。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。**読響カード** 東京芸術劇場には一時託児サービスがあります（公演1週間前までに予約）。株式会社明日香0120-165-115（予約受付：平日9時-17時） ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

\*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

\*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296